

諦めずチャレンジを

センバツ出場 光星・仲井監督

福地中で記念講演

南部

3年ぶりに選抜高校野球大会への出場を決めた八戸学院光星の仲井宗基監督（48）が1日、南部町の福地中学校（福井淳悦校長）で行われた2年生の立志式に合わせ、記念講演を行った。何事にも諦めずにチャレンジする大切さを説き、未来を担う生徒たちの活躍を期した。

仲井監督は「負けてたまるか！」という演題で講演。



記念講演をする八学光星の仲井監督

26年前にコーチとして着任した当時、結果が出なかった苦い思い出を振り返りながら、反骨心をバネに選手たちを指導し、やがて強豪校へと成長していった道のりを振り返った。「負けてたまるか」という強い気持ちを持って挑戦し続けるのは大切。たとえ負けたとしても、それが今後の人生の財産になる」と実感を込めて話した。

同校からプロへと羽ばたいた坂本勇人（巨人）、田村龍弘（ロッテ）両選手の

横顔も紹介。また昨年の18歳以下日本代表チームで中心選手としてプレーした大阪桐蔭の根尾昂選手（中日）について絶賛。「コーチとして接したけれど、常に謙

虚で人間として素晴らしい。あのような選手に巡り会い、大きく育てるのが夢」と語った。

華やかなプロ選手の話に、生徒や保護者ら約100人は興味津々。最後に生徒を代表し、小笠原陸さんが

「講演内容を胸に刻み、日頃の生活に生かしていく」と誓いの言葉を述べた。（松田啓志）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです